



2011年8月3日

各 位

会社名 株式会社日本製紙グループ本社  
 代表者名 芳賀 義雄  
 コード番号 3893 (東証・大証・名証一部)  
 問合わせ先 経営企画部長 大林 保仁  
 (電話 03-6665-1002)

## 日本製紙グループ 洋紙事業の復興計画について

日本製紙グループ本社(社長:芳賀 義雄)は、3月11日に発生した東日本大震災による被害を受けましたが、被災工場の復興だけでなく、国内洋紙市場の縮小をはじめとする厳しい経営環境に対応すべく、このたびグループ洋紙事業の復興計画を策定いたしました。

当計画では、製造コストの高い設備を中心に、当社グループの洋紙生産能力の約15%に相当する年間80万トンの生産設備を停機いたします。併せて、一部の不採算品種から撤退することも決定いたしました。

設備停機に伴い、固定費の圧縮により競争力強化を図ります。同時に、主力工場のオイルゼロ化など、今後懸念される化石エネルギーの高騰リスクにも対応いたします。

当計画の推進により、被災した石巻工場の早期復興を実現するとともに、グループ洋紙事業の抜本的な構造転換を進めてまいります。

### 記

#### 1. 計画概要

##### 1) 生産設備の停機

・抄紙機8台・塗工機4台

【日本製紙】		能力(千t/年)	品 種
石巻工場	4号抄紙機	40	上級紙
"	N3号抄紙機	88	中下級紙
"	1号塗工機	112	塗工紙
岩沼工場	2号抄紙機・30号塗工機	108	塗工紙
富士工場 鈴川	7号抄紙機	60	産業用紙
"	8号抄紙機	86	情報用紙
"	9号抄紙機	145	情報用紙
" 富士	13号抄紙機・33号塗工機	137	塗工紙
岩国工場	1号キャスト塗工機	7	塗工紙
【日本大昭和板紙】			
吉永工場	N2号抄紙機	86	情報用紙
計		869	
(日本製紙 石巻工場 7号抄紙機他)		69	情報用紙他)
<b>洋紙能力削減計</b>		<b>800</b>	<b>(洋紙生産能力の約15%に相当)</b>
(削減後のグループ洋紙生産能力 4,360千t/年)			

石巻工場7号抄紙機は同工場1号塗工機の前紙を生産していましたが、復旧後は情報用紙を生産する予定です。

- ・ 停機時期 2012年9月末までに順次停機予定

なお、当計画により、富士工場（鈴川）は、抄紙機・パルプ設備等の全製造設備を停機することになります。

## 2) 人員削減

- ・ 約 1,300 名  
（正規従業員約 850 名・請負従業員約 450 名、洋紙事業全体の約 15%に相当）
- ・ 退職不補充、グループ内再配置、転職支援等の施策を検討しております。

## 2. 収益への影響

### 1) 収益改善効果

・再構築による比例費削減	50 億円
・償却費等固定費減	85 億円
・要員合理化	100 億円
・売電事業他	15 億円
<改善効果計>	250 億円

2) 当計画に伴う特別損失の見込み 260 億円

なお、甚大な震災被害を受けた日本製紙石巻工場の復興計画は次のとおりです。生産開始時期、生産数量につきましては、市場動向を見極めた上で弾力的に対応してまいります。

	生産開始時期	能力(千t/年)	品 種
8号抄紙機	2011年9月	112	中下級紙
N4号抄紙機・4号塗工機	2011年11月	125	塗工紙
N5号抄紙機	2011年度下期	150	塗工紙
N6号抄紙機	2011年度下期	272	塗工紙
7号抄紙機	2012年度上期	108	情報用紙
N2号抄紙機・2号塗工機	2012年度上期	89	塗工紙

以上